



友からの手紙

安部 慎一

※作者が出産時にホテイの様に  
頭が長かった。

みよ子様、  
手紙ありがとうございます。

それに写真(赤ちゃんの)も  
ありがとうございます。

写真を見て涙がでて  
止まりませんでした。  
手紙もいつも  
元気づけられ

ほんとうに  
なくさめられます  
ありがとうございます。

※  
赤ちゃん、安部さんの  
ホテイさんの話が頭にあったので  
顔の長い安部さんそのものの  
顔を想像していたので  
少しとまどいました。

よく太ってりっぱな  
赤ちゃん、  
みよ子、よくやったね。

私はなんだか自信なくして、  
いじけてしまいます。

ひとりでやらなくては  
いけないだと思いと  
心弱くすぐ泣いてしまいます。

子供に対する愛情も  
あいまいで  
夫ともつまらないし

このままでは  
どうなるんだろうと  
思っています。

出産する時のことを  
考えると怖いし  
今まで行っていた病院の  
先生が怖くて、  
もう行くのがいやです。



ひとりでいるのは  
ほんとうに辛いことです。  
(夫が出張がちな為)  
あたしの赤ちゃん  
ほんとうに生まれてくるの  
だろうかなんて  
思っています。

会社を退めれば気分的にも  
楽になると思うので  
それまでのがまんです。



礼子ちゃん(友達)の結婚式には  
出られそうにありません。  
郷里には早く帰りたいのだけど、  
それもまだはつきりしないし  
なんだかさえません。  
ただどなんとかやっていかなきゃね。  
赤ちゃんの写真じつと見ていると  
だんだん安部さんに似てきて  
おかしくなっていました。  
また書きます。

和枝

返事は僕が  
書こうかね



はい  
お願いします



友よ、  
貴方のお腹に新しい生命の  
宿られた事を心から  
お喜び申し上げます。



